

優遇措置

強力な支援体制で企業立地をサポート

平川市では、手厚い支援制度で企業の進出・事業拡大をサポートします。

立地企業に対する税制上の優遇措置

適用基準			措置事項	措置範囲	適用期間
投下固定資産額（万円以上）		従業員（人以上）			
新設 増設	3,000 2,000	10 5	課税免除	固定資産税	5年間
碓ヶ関地域 新增設 （製造業又は旅館業は 資本金の額により）	500	—	課税免除	固定資産税	3年間
5,000万円超	1,000				
1億円超	2,000				
地域未来投資促進法促進区域 新增設 （農林漁業は5,000）	10,000	—	課税免除	固定資産税	3年間

青森県内でも稀少な
5年間の全額減免

補助金、融資、奨励金等の特別な優遇措置

平川市工場等設置促進条例

対象者の要件	内容	
■投下固定資産の額（土地を除く） 新設 3,000万円以上 増設 2,000万円以上 ■新たに常時雇用する地元従業員数 新設 10人以上 増設 5人以上	雇用促進奨励金	○新設 地元雇用者10人を超える人数1人につき 20万円 ○増設 地元雇用者5人を超える人数1人につき 20万円 （限度額2,000万円） 操業開始日1年前から起算して3年以内の雇用
	工場等誘致奨励金	○5,000㎡以上の用地取得の場合、1㎡あたり1万円を超える取得価額の1/5の額（限度額2,000万円）
■業種 製造業、情報通信業、情報通信技術利用業、自然科学研究所、道路貨物運送業、倉庫業、こん包業、卸売業、電気業	補助金	○私有財産（土地・建物）の賃借料月額の1/3以内（限度月額10万円）を3年間
	リース	○市の普通財産の減額貸付 ○貸付の日から3年間無償貸付 ○4年目から5年間1/2以内

工場立地法による緑地面積割合の優遇措置

平川市では、平成25年12月「平川市工場立地法地域準則条例」を制定し、緑地面積率を20%以上から5～10%以上へ、緑地面積を含む環境施設面積率を25%以上から10～15%以上へ、それぞれ緩和しました。これにより、環境を保全しながら、工場の新設・増設をしやすくし、雇用の創出に期待しています。

企業立地に関するお問い合わせ先

平川市 総務部みらい戦略室 推進班

TEL:0172-55-7490 FAX:0172-55-7486

〒036-0104 青森県平川市柏木町藤山16-1（第二庁舎内）

E-mail: mirai@city.hirakawa.lg.jp

URL: <https://www.city.hirakawa.lg.jp/>



2025.8

青森県平川市 企業立地のご案内



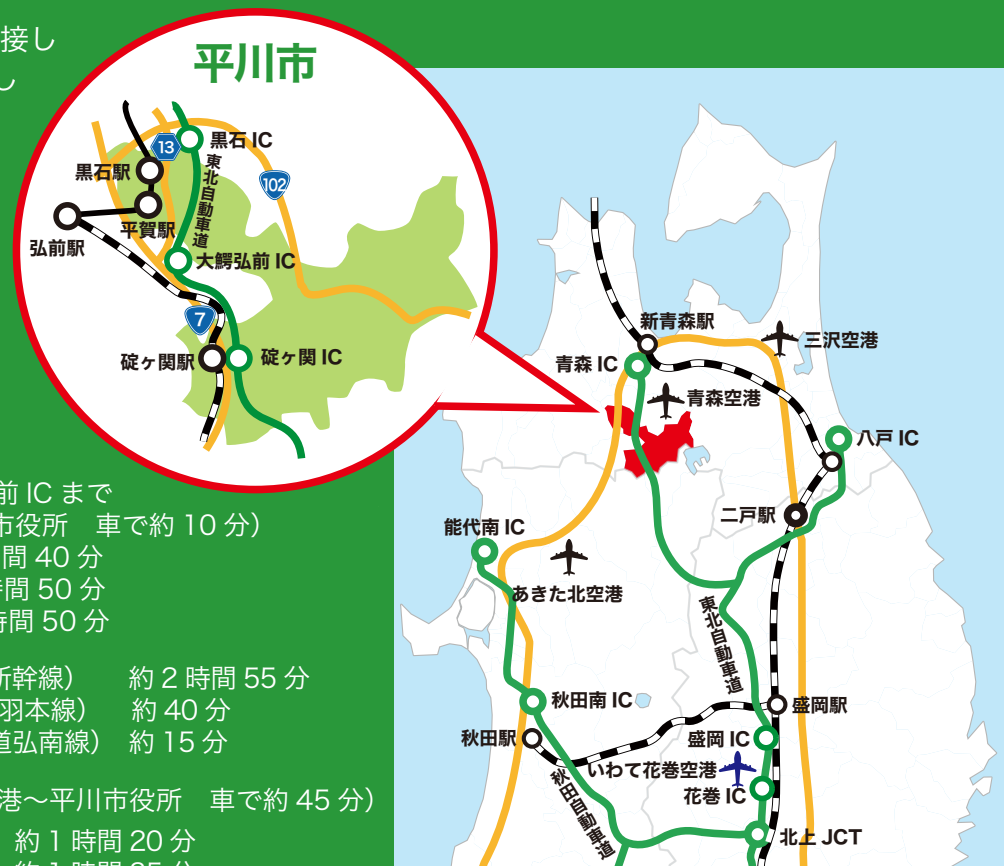
強み

豊かな自然に囲まれつつも 便利な広域への交通アクセス

平川市は、青森県南部、津軽平野の南端に位置し、緑が多く、人々が快適な生活を送れる自然環境を保っており、自然災害が比較的少ない人口約3万人の都市です。市内には「尾上農工団地」、「松崎工業団地」があり、充実した優遇・支援制度で企業の進出をバックアップしています。

津軽地域の中心、「弘前市」に隣接しており、高速自動車道をはじめとした陸路の交通体系が整備されています。

市の中心部から青森空港及び新幹線が停車する新青森駅までは、車で1時間以内となっています。



- 【自動車】東北自動車道大鰐弘前 IC まで
(大鰐弘前 IC ~ 平川市役所 車で約 10 分)
川口 JCT 約 7 時間 40 分
仙台宮城 IC 約 3 時間 50 分
盛岡 IC 約 1 時間 50 分
- 【鉄道】東京⇄新青森 (東北新幹線) 約 2 時間 55 分
新青森⇄弘前 (JR 奥羽本線) 約 40 分
弘前⇄平賀 (弘南鉄道弘南線) 約 15 分
- 【飛行機】青森空港まで (青森空港 ~ 平川市役所 車で約 45 分)
羽田空港 約 1 時間 20 分
大阪伊丹空港 約 1 時間 35 分
名古屋小牧空港 約 1 時間 20 分
新千歳空港 約 50 分
神戸空港 約 1 時間 45 分
仁川空港 (ソウル) 約 2 時間 20 分
台湾桃園国際空港 約 3 時間 30 分

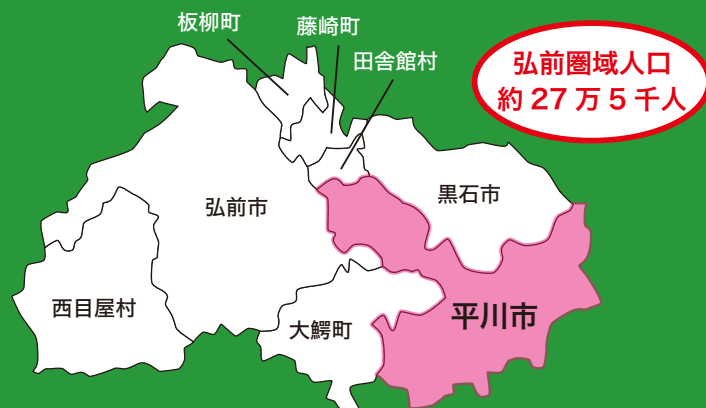
POINT 1

弘前圏域の連携活用による豊富な人材の確保

平川市は中南圏域最大の都市である弘前市をはじめ周辺の市町村と隣接しており、ネットワークの利便性を活用し、通勤・通学と通して労働力の確保にも有効性が期待されます。

市内には柏木農業高校及び尾上総合高校の2つの高校があり、多様な職種に対応できる優秀な人材を確保することができます。

また県内には、弘前大学、青森公立大学、八戸工業大学、青森職業能力開発短期大学校をはじめとする高等教育機関が立地しており、産学官連携・共同研究・インターンシップ活用などが期待できます。



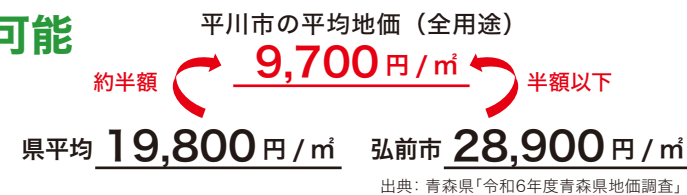
通勤圏に弘前市（人口約16万人）を抱え、幅広い労働力確保が可能
※弘前市内まで車で約15分

POINT 2

地価が安く、広大な用地確保が可能

平川市は、津軽平野の南東部に位置しており、廉価で広大な土地を有しています。

青森県内、隣接する弘前市等よりも地価が安いことから、初期投資を抑えた事業展開が可能です。



産業団地の新規整備構想あり

POINT 3

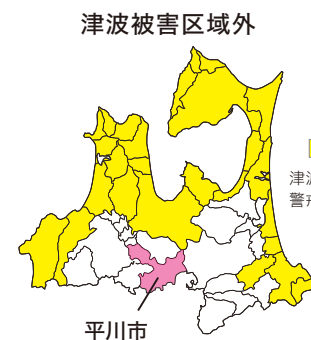
低い自然災害リスクでBCP対策に適した土地

平川市は、平地、台地、山地の3種類に大別され、津軽平野の一部で市街地が形成されています。地盤が安定し、水害や土砂災害、落雷などの自然災害も比較的少なく、BCP対策に適した安全な立地です。

平川市の最大予測震度

概ね震度 6 弱以下

※過去30年間、青森県を震源とする最大震度5以上の地震発生なし



産業用地

市内には、松崎工業団地（団地面積 7.1ha）と尾上農工団地（団地面積 11.7ha）がありますが、空きがない状況にあることから、新たな産業用地を整備し、企業誘致の推進と働く場の確保に努めています。スマートインターチェンジ整備の検討も進めており、利便性の高い地域を中心に検討中です。また、周辺には半導体関連機器大手の(株)日本マイクロニクス青森工場のほか、近隣には青森オリンピックパス(株)、キャノンプレジジョン(株)北和徳事業所などの生産拠点が立地しています。

POINT 4

豊富で良質な水資源

平川市は、浅瀬石川や津刈川など、白神山地・八甲田山系に育まれた清らかな水源から供給される豊富で良質な水資源を有しています。

市内では、この水資源を活かして果樹栽培（りんご・桃）や農産物加工が盛んに行われています。安定的な供給体制と低コストな水利用環境により、サステナブルな事業展開を目指す企業にも最適な立地です。



中南地域の桃



アップルランド(りんご風呂)



(株)日本マイクロニクス青森工場

スマートインターチェンジ
検討エリア